

美幌町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

美幌町は、北海道東部のオホーツク圏に位置し、恵まれた自然資源と交通結節点の立地条件に優れた地域特性に支えられ、農業・工業・商業のバランスのとれた活力のあるまちとなっている。

しかし、年々人口の減少や高齢化が進む中、足の確保の心配によりバス路線運行の拡大要望が増えてきている状況にある。また、現在の公共交通を維持するための費用負担が年々増加する傾向にあり、今後、お年寄りなど交通弱者にも利用しやすい公共交通を効率的に運行することが必要となっている。

美幌町地域公共交通活性化協議会では、平成20年度に美幌町地域公共交通総合連携計画を策定し、利用状況などに配慮した効果的な市街地の公共交通や郊外部全体を網羅する持続可能な公共交通の実現に向けて、平成21年度から平成23年度の3ヶ年に渡り地域公共交通活性化・再生総合事業による実証運行を行っている。

美幌町生活交通ネットワーク計画の目標・効果

平成21年度から平成23年度まで行ってきた実証運行の結果を踏まえ、公共交通の利便性の更なる向上を目指す。

<目標>

- ・美幌高校線 年間輸送人員 2,500人以上
- ・美幌循環線 年間輸送人員 33,000人以上
- ・乗合タクシー 2ヵ月毎の合計輸送人員 350人以上

平成25年度事業概要

- ・美幌循環線 美幌駅前～美幌町役場～美幌駅前
- ・②美幌循環線 美幌駅前～美幌町役場～美幌駅前
- ・③美幌循環線 美幌駅前～美幌町役場～美幌駅前
- ・美幌高校線 美幌～美幌北2丁目～美幌高校

地域公共交通の現況

- ・JR石北本線 美幌駅
- ・阿寒バス(株) 美幌市内循環線、古梅線
- ・北海道北見バス(株) 美幌津別線、美幌高校線
- ・網走バス(株) 美幌線
- ・町営バス、スクールバス、福祉バス

美幌町地域公共交通活性化協議会開催状況

- ・平成24年11月14日
地域内フィーダー系統確保維持計画案に係る意見照会

○乗合タクシー

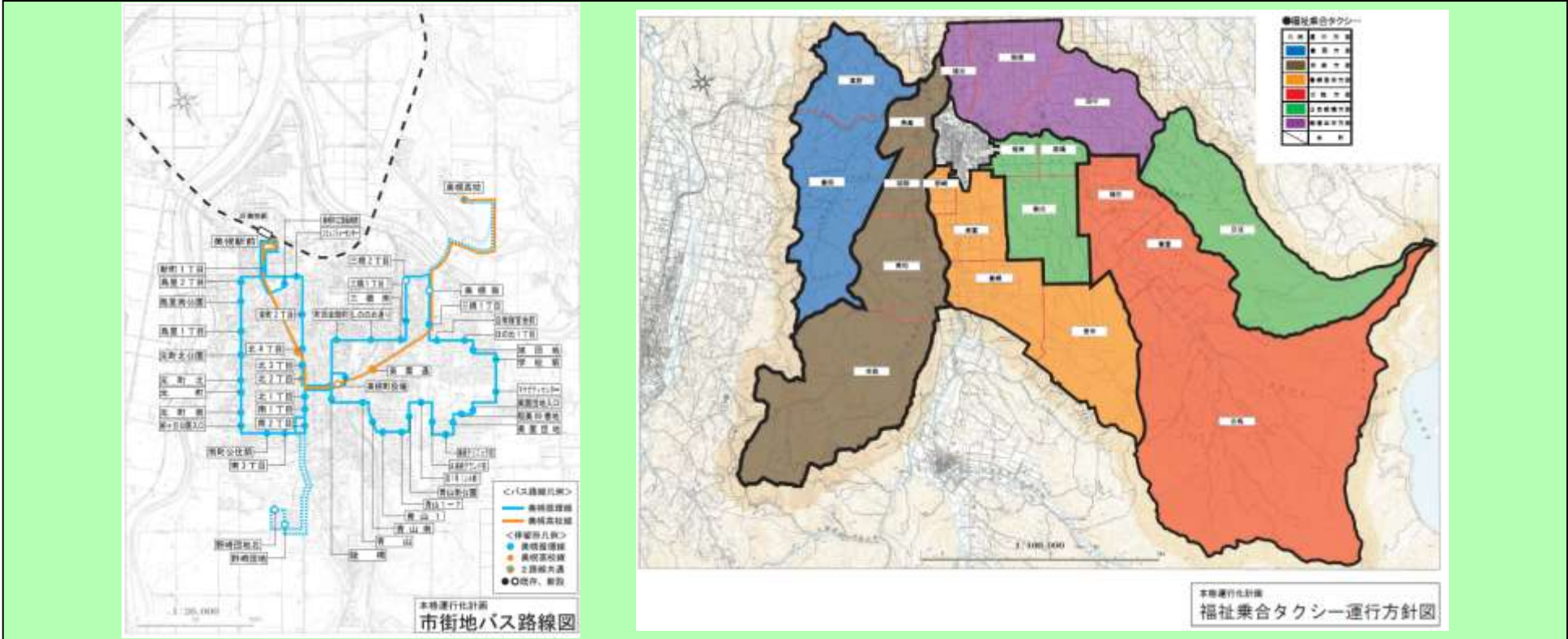
- ・豊岡方面 豊岡～豊岡方面～JAびほろ
- ・栄森方面 栄森～栄森方面～美幌駅
- ・豊幌登栄方面 登栄～豊幌登栄方面～美幌駅
- ・古梅方面 古梅～古梅方面～美幌駅
- ・日並方面 日並～日並方面～美幌駅
- ・報徳田中方面 田中～報徳田中方面～美幌駅

平成25年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・美幌高校線について、平成23年度の実証運行後についても運賃を従来の270円から100円に設定し、夏季運行における利用実績や収益等についての分析を行い、運行時刻の調整等の検討を行って、利便性の向上を目指した。
- ・美幌循環線について、平成23年度の実証運行後についても「左回り第1便」と「右回り第7便」について美幌高校まで運行し、夏季運行における利用実績の分析を行い、運行便数や運行時刻を検討し利便性の向上を目指した。
- ・乗合タクシーについて、平成23年度までの実証運行を総括して、本格運行を行いながら運行の妥当性についての検証を行った。

2) 運行ルート



3) 利用実績

(人)							
系統名	平成24年10月	平成24年11月	平成24年12月	平成25年1月	平成25年2月	平成25年3月	計
美幌循環線	2,344	2,399	2,722	2,278	2,664	2,702	15,109
②美幌循環線	134	139	209	200	184	193	1,059
③美幌循環線	428	607	563	486	542	316	2,942
美幌高校線	171	405	302	334	382	264	1,858
豊岡方面	4	2	2	2	2	6	18
栄森方面	17	12	10	8	8	9	64
豊幌登栄方面	40	41	38	41	40	44	244
古梅方面	83	63	75	80	81	77	459
日並方面	18	15	17	25	17	20	112
報徳田中方面	20	22	20	12	6	16	96

4) 収入実績

(円)							
系統名	平成24年10月	平成24年11月	平成24年12月	平成25年1月	平成25年2月	平成25年3月	計
美幌循環線	212,550	216,750	237,650	206,750	238,200	251,500	1,363,400
②美幌循環線	13,500	13,800	20,900	19,900	18,500	20,800	107,400
③美幌循環線	42,800	60,700	56,300	48,600	55,500	31,600	295,500
美幌高校線	17,100	40,500	30,200	33,400	38,200	26,400	185,800
豊岡方面	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000	9,000
栄森方面	8,500	6,000	5,000	4,000	4,000	4,500	32,000
豊幌登栄方面	20,000	20,500	19,000	20,500	20,000	22,000	122,000
古梅方面	41,500	31,500	37,500	40,000	40,500	38,500	229,500
日並方面	9,000	7,500	8,500	12,500	8,500	10,000	56,000
報徳田中方面	10,000	11,000	10,000	6,000	3,000	8,000	48,000

5) 事業実施の適切性

- ・計画どおり事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

- ・美幌循環線の輸送人員については、目標33,000人/年の輸送人員に対して19,110人/6ヶ月であり、実証運行の同時期と比較して上回っており、目標の数値に達すると見込まれる。
- ・美幌高校線の輸送人員については、目標2,500人/年の輸送人員に対して1,858人/6ヶ月であり、実証運行の同時期と比較して上回っており、目標の数値に達すると見込まれる。
- ・乗合タクシーの輸送人員については、目標350人/2ヶ月の輸送人員に対して331人/2ヶ月であり、実証運行の同時期と比較して下回った。人口の減少が要因と思われる。

7) 事業の今後の改善点

- ・利用者のニーズの把握により、利便性の向上を図りたい。
- ・継続的な周知、広報活動により、利用を促進していきたい。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

- 自己評価のとおり、適切に事業が実施されている。
- 美幌循環線と美幌高校線については、目標を達成する見込みとすることで、今後は、継続的な周知・広報活動を展開するとともに、地域住民の利用ニーズと利用実態を適宜検証することにより、更なる利用促進と効率的な運行を図り、持続可能な取組みを期待する。
- 乗合タクシーについては、現状の実績と今後の利用者見込みを踏まえた適切な目標値を設定した上で、モビリティマネジメントを活用した周知・広報活動により利用促進を図ることを期待する。